"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"
INTERNATIONAL Y'S MEN'S CLUB
The service club of the YMCA
THE Y'S MEN'S CLUB OF
NISHINOMIYA
スポンサー 大阪クラブ　DBC 近江八幡クラブ　広島クラブ
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB — CHARTERED MAY 17TH, 1948

2024年
２月
910号
(77期８号)

主題・スローガン

西宮クラブ会長　「楽しく充実した活動」　浅野純一
Ｙサ･ユース事業主査　「次世代に向けてＹワイズ･ＹYMCA･Ｙユースが相互に、Wウィン･Wウィン･Wウィンで立場持ち場を越えて支え合おう」　小野勅紘
六甲部部長　「YMCA とのさらなる協働を目指して」　井出　浩
西日本区理事　「未来に灯そう希望の光り」「互いに認め合おう　世界の友と 」　深谷　聡
アジア会長　「変革のための光となろう」「親睦を通して、輝き、力を得よう」　利根川恵子
国際会長　「輝かそう、あなたの光を」「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」　ウルリック･ラウリドセン

２月　西日本区強調活動

TOF　FF

世界で飢餓に苦しむ人を思い、TOF 献金を！

川口 恵　地域奉仕･環境事業主任（名古屋）

西宮ワイズメンズクラブ　２月第一例会

日時：２月９日(金) 19:00～20:00
場所：西宮 YMCA３階会議室
ドライバ: 藤原百合子メン、山本常雄メン

1. 開会挨拶、点鐘　浅野 会長
2. ワイズソング　一同
3. 今月の聖句　馬場一郎メン
4. スピーチ　森川俊介 担当主事
　『スタッフ研修ステップⅡを終えて』
　=ヤングケアラー支援から考える
　地域における西宮 YMCA の役割=
5. お誕生日のお祝い（12 月～2 月）
6. ワイズニュース　浅野 会長
7. YMCA ニュース　森川 担当主事
8. 閉会挨拶、点鐘　浅野 会長

※TOF 月のため食事はありません。
（例会後夢庵に移動し懇親会）

HAPPY BIRTHDAY / February

３日 小野メン
１２日 阪根紀子メネット
２１日 山本メン
２３日 西山安子

今月の聖句

人を裁くな。そうすれば、あなたがたも裁かれることがない。人を罪人だと決めるな。そうすれば、あなたがたも罪人だと決められることがない。赦しなさい。そうすれば、あなたがたも赦される。与えなさい。そうすれば、あなたがたにも与えられる。押し入れ、揺すり入れ、あふれるほどに量りをよくして、ふところに入れてもらえる。あなたがたは自分の量る秤で量り返されるからである。

ルカによる福音書第６章 37～38 節　馬場一郎選

１月出席状況　（在籍会員数　21 名）

第一例会（14 日）		第二例会（26 金）	
メン	16 名	メン	10 名
メネット	2 名	メネット	0 名
ゲスト	1 名	ゲスト	0 名
MU	1 名	計	10 名
合計	**17 名**	**出席率**	**81．0%**

ファンド	１月	累計
ニコニコ	￥　0	￥10,000
BF	￥　0	￥12,900

会長 浅野 純一　直前会長 濵 浩一　副会長(次期会長) 濵﨑 進一　副会長 足立 康幸
書記 山口 吉郎，小野 勅紘　会計 濵﨑 進一，重村 仁　監事 阪根 新，丸山 悦治　担当主事 森川 俊介
Ｙサユース事業主査 小野 勅紘　組織検討安全対策委員 山口 吉郎　次期六甲部長 小野 勅紘

会長メッセージ

会長　浅野 純一

今年は誠に悲痛な思いでもって幕が開けました。元旦の午後４時 10 分ごろ、能登半島沖を震央とするマグニチュード 7.6 の大地震が起こりました。そのとき、私は机に向かっていたのですが、小刻みに比較的長時間の揺れに怖い思いをしました。テレビをつけると女性アナウンサーが津波への警戒を叫んでいました。しばらくして大変な地震であることを知りました

テレビで視聴者が投稿した家の中で激しく揺れる映像をみて、29 年前を思い起こしました。当時、私は子ども小さく最も忙しい時期で、朝からゴミを出し、洗濯機をまわし始めて朝食を摂っていました。そうしたところに激しい揺れに遭いました。これがトラウマとなったのか、以後少しの揺れにも敏感になりました。

21 世紀以降の国内での大きな地震は、2011 年３月の東日本大震災ですが、その他にも多くの犠牲者をだした地震として、2004 年 10 月の新潟中越地震、2016 年 4 月の熊本地震があります。熊本地震では 276 人の方が犠牲になりました。そのうちの 226 名の方が災害関連死の方です。2018 年 6 月の大阪北部地震は私の記憶に新しいところで、携帯電話の地震速報を告げるアラームが付近一帯に鳴り出し、すぐに大きな揺れがきました。この地震で 6 名の方が犠牲になりました。同年 9 月には北海道胆振沖地震が起こり 43 名の方が犠牲になりました。そして、この度の「令和６年能登半島地震」では災害関連死の方 15 名を含めて 238 名の方が犠牲になり、19 人の方が安否不明です(1 月 30 日現在)。なかにはお正月に帰省された方で被災された方がおられます。また、低体温症や凍死で亡くなられた方が 32 人もおられることに、どれだけ寒かっただろうかと思うと心が痛みます。

世界で起こる地震のなかで約 15%近くが日本に影響を及ぼす領域で起こっているとされます。国内で地震の影響を受ける最も低い確率の場所は富山県だったそうですが、今回の地震で富山も大きな被害が出ました。日本で地震が起らないところなどありません。われわれの住む阪神地方で最も恐れるのが南海トラフで起こる地震で、M8 以上の地震が発生する確率は 30 年以内に 80%との報道があります。改めて備えなければと思います。

能登の被災地では避難所などで不自由な環境の中で過ごされている方が被災から１か月経ったいまも多くいらっしゃいます。これ以上震災関連死がないように、また余震が一刻も早く収まるように、そして能登の皆様が早く元の生活を取り戻せるようにお祈りいたします。

１月例会報告　–新年会–

会長　浅野 純一

2024(令和６)年１月例会は新年会として１月14日(日)午後 1 時 30 分から阪急西宮北口駅近くの「ふじや本店」で開催しました。日曜日の午後の例会は、最近夜の例会への参加がつらいと思われる方が少なからずおられ、一度お昼に例会を開催をと思ったからです。西山メンは１年以上お見掛けしてい

なかったのですが出席いただきました。また夜の宴席にはしばらく欠席されていた廣瀬、足立メン、それに昨春まで担当主事を勤めていただいた藤田さんも参加していただきました。西山メンは、患わっている難病は少し進行しているもののプールにも通い散歩もして元気に過ごしているとのこと、また昨秋

手術された濱メンは少しスマートになった姿で元気にしているとの報告がありうれしく思いました。残念ながらご家族の看護や所用で参加されなかったメンバーがおられましたが19人の参加で、また「やろう」との声もいただき、まずはこのような形式で行ったことは良かったと思います。ただし、会場が狭く交流が十分にできなかったことが反省点として挙げられます。出席者は浅野、足立、岩田、小野、阪根、重村、西山、濵、濱崎、廣瀬、藤原、丸山、万本、山口、山本、森川の各メン、廣瀬メネット、宮地特別メネット、そしてビジターの藤田主事です。小野さんは教会の役員会が長引いたとのことで終了時での参加です。教会

に出席される方のことを考慮しての開催でしたが、小野メンには申し訳ないことをしました。この会は山口正紀さんから例会活性化のためにと提供いただいた基金から補助していただきました。

YMCAニュース

担当主事 森川 俊介

早いもので2月に入り、今年度もあと2か月をきりました。西宮 YMCA で行われている育成センター、保育園、発達支援事業等全ての事業で新年度に向けての準備を進めています。

今年度の子どもたちの成長や自身やチームでの取り組みを振り返り、評価を行いながら、次年度に向けて「子どもたち」にとってよりよくするためにはどうすればいいのか知恵を出し合い、計画しています。1年という期間の中でふりかえると普段見えにくいことが見えたり、気づきがあります。できていることは継続して、できなかったことはどうすればできるのか等、一つ一つ計画に落とし込んでいくことは有意義なことだと思います。

そして、子どもたちにとっては各学年のまとめ、次の学年へのステップの時期でありとても大事な時期です。慌ただしい時期ではありますが、日々の保育・関わりを大切にして、子どもたち、そして保護者に寄り添いながら歩んでいきたいと思います。

行事報告

1．国際協力募金活動

12月10日（日）、大丸神戸店前にて街頭募金活動を行いました。当日はとても暖かい日となり、多くの方々が街中にいらっしゃいました。

今年は育成センターでの呼びかけに応じてくだ

さる学童の子どもと保護者の参加もありました。２時間の街頭募金でしたが、皆さまのご理解とご協力により 67,473 円もの募金が集まりました。

2．けん玉検定

育成センターでは１月～けん玉に取り組んでいます。YMCA でつくったオリジナルの検定を毎週 2 回実施しています。初日の５日は小学校の体育館をお借りして、全体でけん玉の持ち方や片づけ方、ジャンピングなど基本的なことを確認した後に、班ごとでの検定を行いました。誰かと比べるのではなく、自分のできる技を一つ一つ、合格できるよう、日々の練習を大切に、友だちと一緒に取り組んでいきます。検定では、けん玉の技の向上だけを目標にするのではなく、取り組む姿勢、友だちとの関係などいろいろな視点をもって支援員も子どもたちと一緒に取り組んでいます。

３. YMCA ピンクシャツデー

２月 28 日（水）は YMCA ピンクシャツデーです。「いじめをなくそう！」として広がったピンク シャツデーの運動ですが、今年は昨年に引き続き、「It makes me happy」をテーマに自分の心が傷ついた時や弱っ た時、どんな言葉やアクションがあると自分が HAPPY（嬉しい、元気になる、勇気がでる）になれるかを発信しあいます。その言葉は人によって 違いがあると思いますが、その違いに気づき、互いを知り、相手を受け入れることで、「違いを認め合い、高め合うポジティブ ネットのある 豊かな社会の創造」に繋がることを願っ ています。

４．能登半島地震緊急支援募金　「西宮 YMCA 街頭募金活動」

子どもたちと一緒に現地の様子を聞き、「私たちは何ができるか」を考え、街頭募金活動を行います。ワイズの皆さんもぜひご参加ください。

日時:２月３日(土)10 時-12 時　※雨天中止

プログラム　1.ワークショップ　2.街頭募金活動

集合：西宮 YMCA

ワイズニュース【今後の予定】

２月３日(土)　10 時～12 時　阪神西宮駅南出口
　能登半島地震被災地支援の緊急募金活動

２月３日(土)　午後３時～　六甲部役員会(Zoom)

２月９日(金)　午後７時～8 時　第一例会

２月 16 日(金) 午後７時～8 時 30 分　第二例会
　(23 日(金)天皇誕生日のために変更)
　※使用済み切手収集作業の実施　クラブでまとめて柏原交流事業主査宅に提出(22 日まで)

２月 26 日(月) 午後６時 30 分～8 時
　第２回次年度西日本区大会実行委員会
　神戸 YMCA 会館

３月４日(月)　午後６時 30 分～8 時
　総主事・クラブ会長の懇談会 神戸 YMCA 会館

３月 16 日(土) 午後３時～5 時
　六甲部第２回評議会　神戸 YMCA 会館

ハクバイ

編集後記　　　　　ブリテン委員　山口 吉郎

★早くも１月が過ぎました。２月は逃げる３月は去ると何かと行事の多い時期。慌てずじっくりとその後に春がやって来るのを待っています★３ＤＢＣ野球観戦交流会の活動報告が事業通信２月号に掲載されてます。ご覧ください★